

第1号通信

研究報告申込要領
(2015年6月30日)

日本広告学会
第46回全国大会ご案内
[研究報告申し込みのご案内]

大会統一論題
広告研究を解放する
～実りある学際研究に向けて～

日本広告学会第46回全国大会

京都産業大学

2015年10月23日(金)～10月25日(日)

運営委員長：京都産業大学 伊吹勇亮

ご挨拶

このたび、日本広告学会第46回(2015年度)全国大会を京都産業大学むすびわざ館にて開催する運びとなりました。日程は10月23日(金)から25日(日)の3日間です。京都産業大学での開催は2001年以来14年ぶりです。今回は、本部キャンパスのある洛北・上賀茂ではなく、2012年に京都市街に新たに開設した「むすびわざ館」にて、会員のみなさまをお迎えいたします。自由論題報告へのお申し込み、そして大会へのご参加を、心よりお待ちしております。

2015年6月30日

日本広告学会 第46回(2015年度)全国大会
大会運営委員長 伊吹勇亮(京都産業大学)

1. 大会統一論題(大会テーマ)

広告研究を解放する ～実りある学際研究に向けて～

広告という現象が世に現れた時、それは「なにかに縛られたもの」ではなかった。企業のマーケティング活動の一環というわけでは必ずしもなく、マス・メディアを通じた情報伝達というわけでは必ずしもなかった。広告を「縛る」ことに成功したのは20世紀における各種の技術革新であり、マス・メディアを通じた企業のマーケティング情報の拡散という範疇にその領域を限定せしめた。しかし、21世紀に入り多くの論者がこのような広告観に異を唱え、その縛りを解き、広告のホリスティック(全体論的)な把握の必要性を提唱している。

このような流れは、広告を研究活動の射程におく広告研究においても成り立つであろう。広告が企業のマーケティング活動であるにとどまらず、社会現象であることを考える時、広告研究がなにかのディシプリンに「縛られる」ものではなく、学際的なアプローチを必要とするものであることは言を俟たない。しかし、細分化の進む現代の学術研究においては、ややもすれば「隣はなにをする人ぞ」という状況を生み出しかねず、広告のホリスティックな理解は阻害されていると言ってもよい。このままで、広告研究の発展は、なされるのであろうか。広告研究者はなにをどのように考える必要があるのだろうか。

伝統と革新が共存する街、温故知新が今に生きる街、日本を代表する学術研究の街、古都・京都での全国大会は、現代の広告を読み解く上で必要不可欠な「実りある学際研究」とはなにかについて考える機会としたい。それは、広告研究の「故きを温ね新しきを知る」ことにほかならない。会員諸氏の積極的な参加と活発な議論を期待したい。

2. 日程

2015年10月23日(金)～10月25日(日)

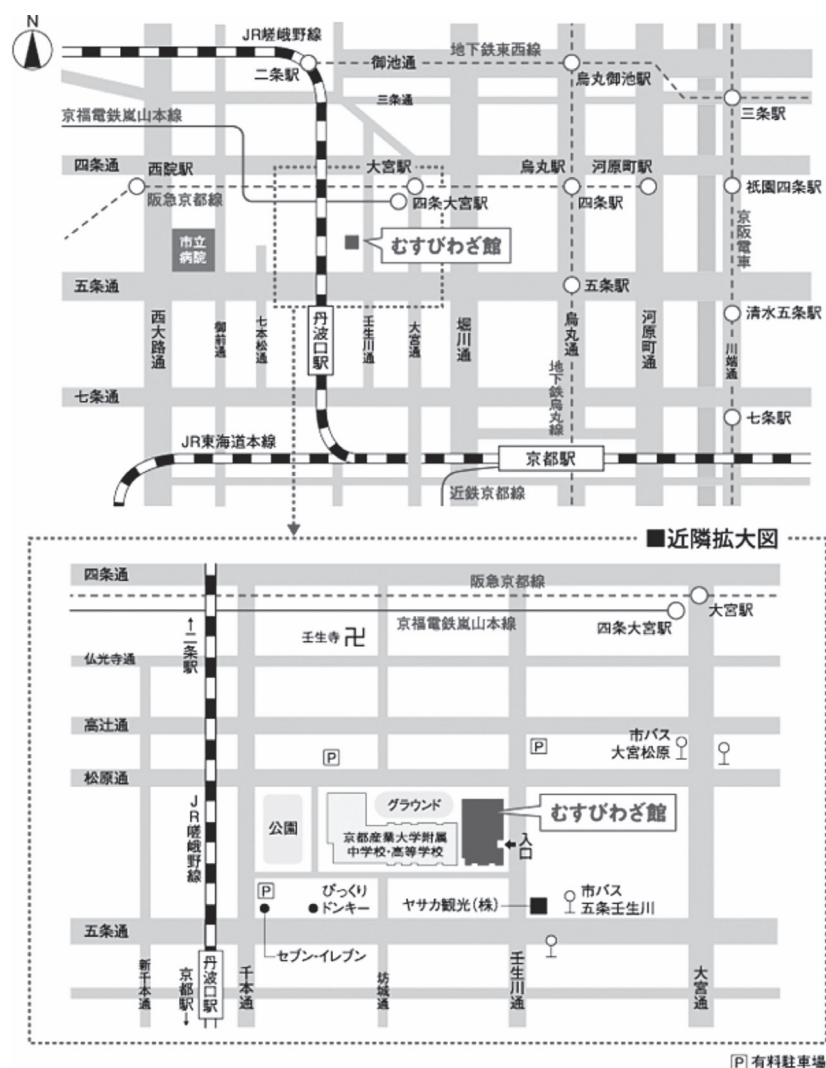
- ・23日(金) 午後：各種委員会・拡大常任理事会
- ・24日(土) 午前：基調講演
午後：特別講演、パネルディスカッション、会員総会、懇親会
- ・25日(日) 自由論題報告、プロジェクト研究報告

3. 会場

京都産業大学 むすびわざ館(京都市下京区中堂寺命婦町1-10)

※京都市内にはホテルをはじめ宿泊場所が多数あるため、大会運営委員会では特段の斡旋はいたしません。ただし、時節柄、また円安の影響もあり、宿泊場所の予約は早期に行われることをお勧めいたします。京都駅前や市内中心部(河原町・烏丸)から大会会場までは、最寄り駅まで電車で1～2駅(3～5分)と、それほど離れてはいません。また、京都市内から少し離れていても、JR京都線・琵琶湖線ならびに阪急京都線沿線からは、容易にアクセス可能です。

4. 交通アクセス



JR 嵯峨野線「丹波口駅」(京都駅から1駅)から徒歩で約4分
 阪急京都線「大宮駅」(河原町駅から2駅)から徒歩で約7分

5. 研究報告のお申込について

本大会の「研究報告」は全て自由論題報告となります。自由論題報告は、広告理論および実務のさまざまな分野から自由なテーマでの研究報告です。

なお、研究報告の要領は以下のとおりです。

- (1) 報告者の資格: 日本広告学会の正会員で本年度までの年会費を7月24日までに納入済みである方、及び名誉会員。
- (2) 報告件数: 一人1件。ただし、共同研究者として他の報告に名前を連ねることはできますが、口頭での報告をすることはできません。

- (3) 報告予定数:自由論題報告20件程度。報告時間は30分(報告20分、質疑応答10分)とします。なお、報告件数については研究報告の応募状況により若干の変更があります。
- (4) 報告申し込み方法:
- ・「研究報告申込書」(同封のもの、もしくは学会ホームページからダウンロードしたもの)にご記入の上、大会運営委員会事務局宛にメール、FAX、郵便のいずれかでお申し込みください。
 - ・申込期限:2015年7月24日(金)24時。郵送の場合、当日消印有効。
 - ・その後、『大会報告要旨集』原稿を、8月31日(月)までにご提出いただきます。その作成要領は、7月中にお送りします。
- (5) 報告者の決定:大会運営委員会が研究報告要旨の内容を検討し、決定いたします。結果は、応募された会員宛に、9月中旬までにご通知いたします。
- (6) プロジェクト研究報告:プロジェクト研究報告は、指定課題が60分(報告40分、質疑応答20分)萌芽課題が30分(報告20分、質疑応答10分)です。

6. 今後の予定

(1) 第2号通信

- ・大会参加申込手続き, 大会参加費, 懇親会費のご案内
- ・2015年7月下旬発行予定

(2) 第3号通信

- ・大会プログラムのご案内
- ・2015年9月下旬発行予定

7. 第46回(2015年度)全国大会運営委員会

運営委員

- ・委員長 伊吹勇亮(京都産業大学)
- ・副委員長 山崎方義(クボタ)
- ・委員 市川貢(京都産業大学), 大内秀二郎(近畿大学), 小泉秀昭(立命館大学), 妹尾俊之(近畿大学)

事務局

京都産業大学 経営学部 伊吹勇亮研究室

- ・住所:〒603-8555 京都市北区上賀茂本山
- ・電話:075-705-1766(研究室直通) FAX:075-705-1799(研究室棟共通)
- ・E-mail:jaa2015ksu@gmail.com

- ・大会に関するお問合せは大会運営委員会事務局宛にお願いいたします。
- ・研究室を不在にすることが多いため、お問合せはできる限りメールで頂ければ幸いです。